

知名町における地域福祉活動の取り組み

《知名町での取り組み》

知名町では今年度暮らし安心・地域支え合い推進事業に取り組んでいます。

新たに知名町社協に配置されたコーディネーターを中心に、5つのモデル地区それぞれで推進会議を実施しています。

推進会議のメンバーは区長、民生委員、老人クラブ役員、婦人会長、在宅福祉アドバイザー、消防分団長等で、その中で支え合いマップづくりを活用しながら、地域の課題を発見し、地域住民とともに解決策を検討し、取り組んでいく計画です。



ーモデル地区での取り組みの流れー

- 9月 第1回推進会議(事業概要と今後の事業計画説明)
- 10月 地域における見守り・支え合い推進セミナー開催
(モデル5地区の推進会議メンバーを対象に実施)
- 11月 第2回推進会議打合せ
- 12月～ 第2回推進会議(支え合いマップづくり)
- 1月～ 第3回推進会議
支え合いマップから見てきた地域の取り組み課題等を整理し、取り組んでいく予定です。

ーモデル地区の取り組み紹介ー

田皆地区 第2回推進会議

日時:12月6日(木)19:30~21:30
参加者:22名(地域住民15名、関係職員7名)

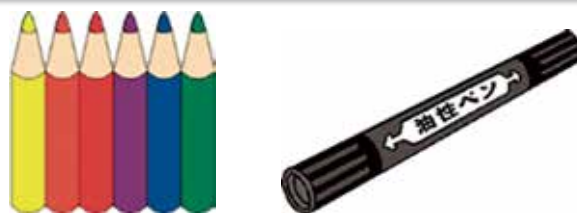
田皆地区の支え合いマップづくりを行いました。350世帯ほどある大きな地区のため、6班に分けてマップづくりを実施することとし、この日はまず1~3班までのマップづくりを実施しました。

当日16:00から関係職員が集まり、役割分担や聴取方法、記入方法等について1時間程度事前打合せを行うとともに、地図の確認を行いました。



《支え合いマップづくりのポイント》

1. 50世帯程度のご近所で行う
2. そのご近所に住む5・6人の方に集まっていただく
3. 必要なものは大きな住宅地図とペンなど



支え合いマップとは？

ご近所に住んでいる方に集まっていただき、地域の「気になる人」(支援を必要とすると考えられる人)とその人への地域住民の日頃の関わり等をマップに落とし込んでいき、情報を共有するとともに、地域の助け合い・支え合いのきっかけとすることが目的です。

《支え合いマップづくりで見えてきた地域課題への取り組みが県内各地で始まっています》

マップづくり後は、取り組み課題の整理を早めに行います。(その地区でどんな活動をしたらいいか等) まずは、できるかどうかあまりこだわらず並べてみます。マップづくりで芽生えた地域への思いが冷めないうちに、地域住民を中心として社協や関係機関・団体等も一緒に考え、当面の取り組み課題に取り組んでいくことが大切です。